

2021年5月期 決算説明会

株式会社三機サービス
(東証一部：6044)

2021年7月19日



説明内容

1

当社について

2

2021年5月期 通期決算概要

3

2022年5月期について

説明内容

1

当社について

2

2021年5月期 通期決算概要

3

2022年5月期について

会社概要

設立	1977年7月
資本金	616,652千円
売上高	連結115.2億円（2021年5月）
従業員数	連結420名（2021年5月）
代表者名	代表取締役社長 北越 達男
本社	兵庫県姫路市
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業方針	メンテナンスを核とした環境改善により社会に貢献する

企業理念

ミッション

空間インフラのもっと快適・ずっと安心を提供すること

ビジョン

国内はじめ東南アジアにおいて、安心・快適な
空間のインフラを技術・データ・ITで
プロデュースする会社

バリュー

社員一人ひとりがオーナーシップと勇気・挑戦の心と
他者への尊敬の念を胸にして、ひたむきに仕事に向き合い
ステークホルダーの幸せに貢献する



代表取締役社長
北越 達男

メンテナンス業界



設備の維持管理コストを減少させるための

> 省エネ提案

突発的な故障の発生を減少させるための

> 保全メンテナンス

小売業や飲食業を中心とした**多店舗展開企業**

メンテナンス管理の

> 一括アウトソーシング化

ニーズの高まり

当社の事業

メーカー指定店としての

空調メンテナンス サービス



メンテナンス一括受託
施設の資産価値向上

トータルメンテナンス サービス



インバータ化等
環境改善に貢献

省エネサービス



蓄積された技術力やメンテナンスノウハウを活用

事業拡大・業務効率化による利益率の向上

トータルメンテナンスサービス



コールオペレーターの
知識・対応力の向上



専属部署による
パートナーの品質確認・教育

品質向上・付加価値提案の強化

コールセンター及び業務部門の
効率化と顧客満足度向上

パートナーの**新規開拓**、
サービスレベルの**維持・向上**

環境ビジネス・メンテナンスサービス



省エネ商材の範囲拡大



他企業とのアライアンス

新たな
成長ドライバー

設備全体の省エネ化
環境・省エネビジネスの事業拡大

メンテナンスサービス事業

メンテナンスノウハウの

内製化

多能工化

短期育成

当社研修センター活用

人材レベルに応じた **研修・指導**

蓄積した **ノウハウの継承**

説明内容

1

当社について

2

2021年5月期 通期決算概要

3

2022年5月期について

■ 新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響

・全世界で新型コロナウイルス感染症拡大が蔓延。日本でも2020年秋頃から再び拡大のペースが加速し、経済は減速傾向となった。当社においても、2021年5月期は年間を通じて以下の業種において、当初想定していた工事案件等の延期により収益が伸び悩んだ。

病院や老健施設



立入り制限
工事延期や中止

飲食業



緊急事態宣言中
営業停止
定期点検見合わせ

小売業



来店制限
新規出店・定期点検
見合わせ

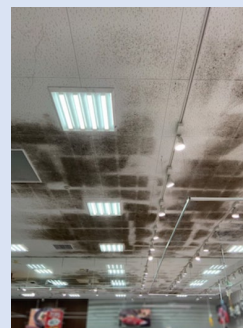
■ 新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響

- ・一方で、新型コロナウイルス感染症対策としての「コロナ消毒」や、強制換気によるカビの発生を防ぐ「防カビ対策」のサービスの需要が高まった。

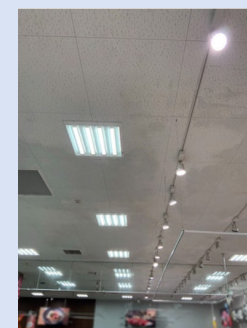
コロナ消毒



防カビ対策



Before



After

2021年5月期決算概要 - 連結業績ハイライト

新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食業の顧客向けの定期保守や、病院等の老健施設向けの省エネ工事の延期等により、売上高は計画に対しては97.7%となった。

利益率の高い省エネ工事の落ち込みによる売上総利益減少や、減価償却費や、海外子会社に関する調査費用の増加等の影響により販管費が増加したことなどを受け、営業利益が減少した。

(単位：百万円)

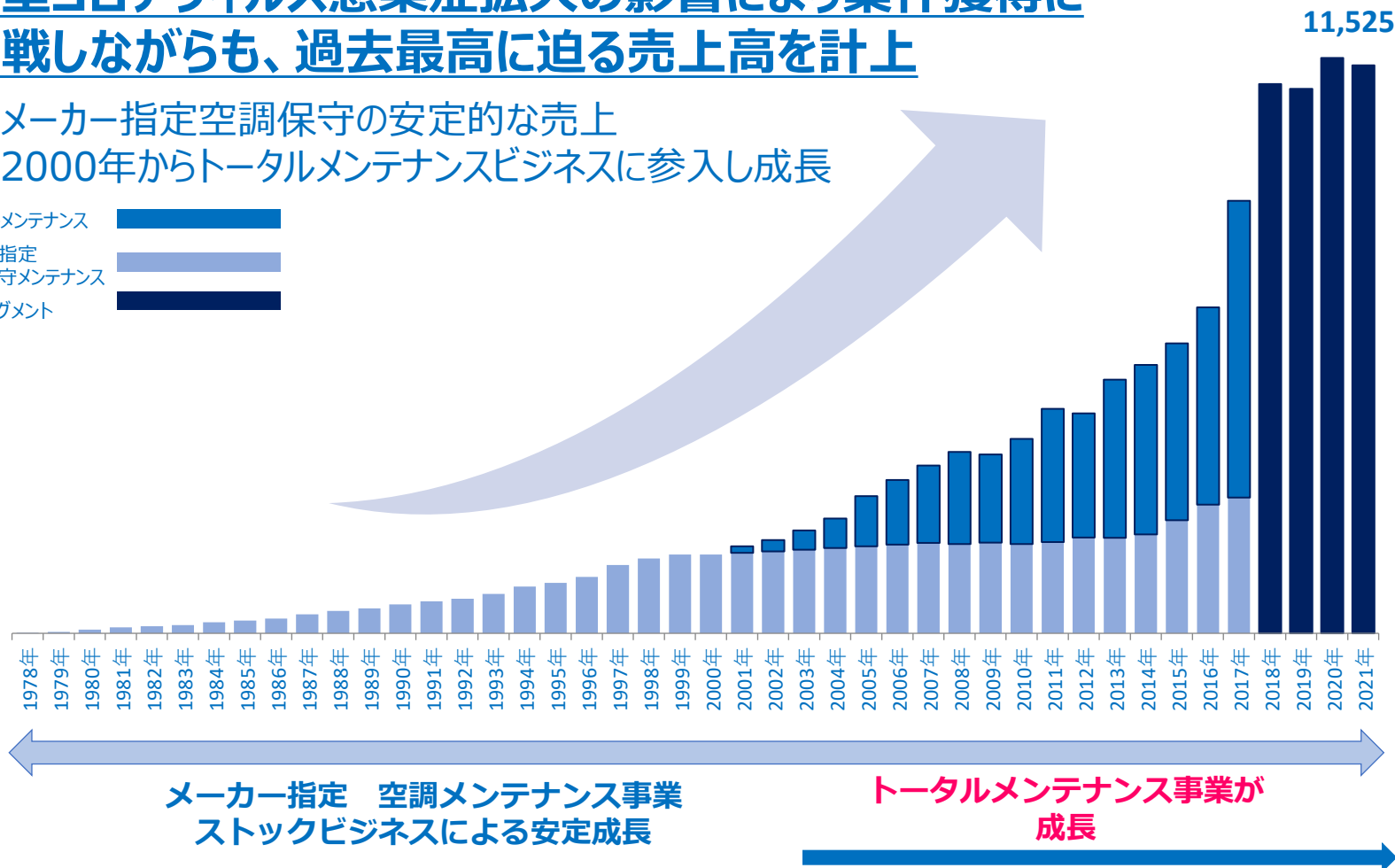
	2020年5月期 (A)	2021年5月期 (B)	(B)/(A) %	計画 (C)	(B)/(C) %
売上高	11,679	11,525	98.7%	11,800	97.7%
営業利益	406	288	71.0%	106	271.7%
営業利益率	3.5%	2.5%	-	0.9%	-
当期純利益	272	175	64.5%	-	-

【連結売上高推移】

単位：百万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により案件獲得に苦戦しながらも、過去最高に迫る売上高を計上

- メーカー指定空調保守の安定的な売上
- 2000年からトータルメンテナンスビジネスに参入し成長

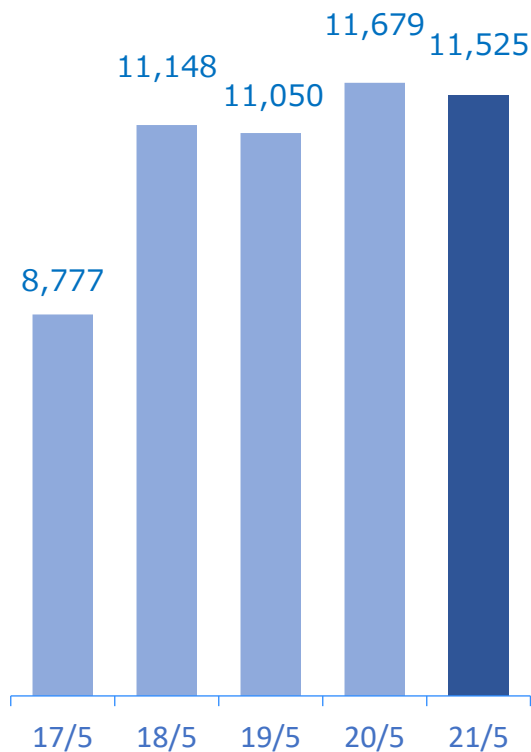


2018年5月期より単一セグメント表記

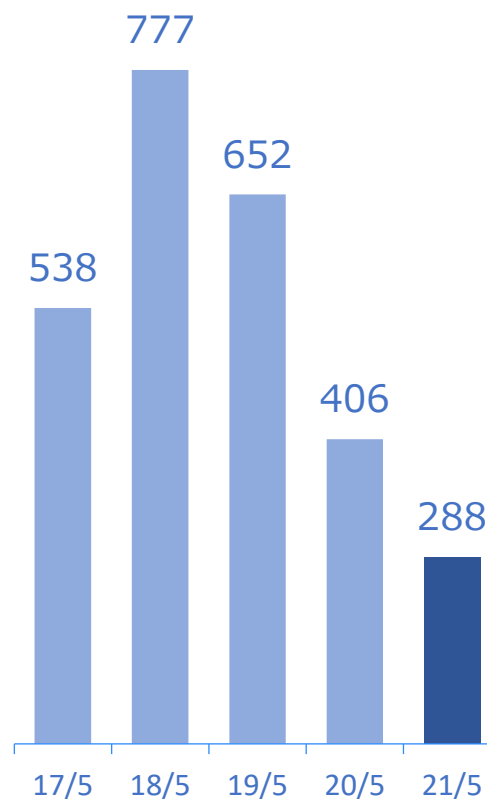
2021年5月期決算概要 - 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

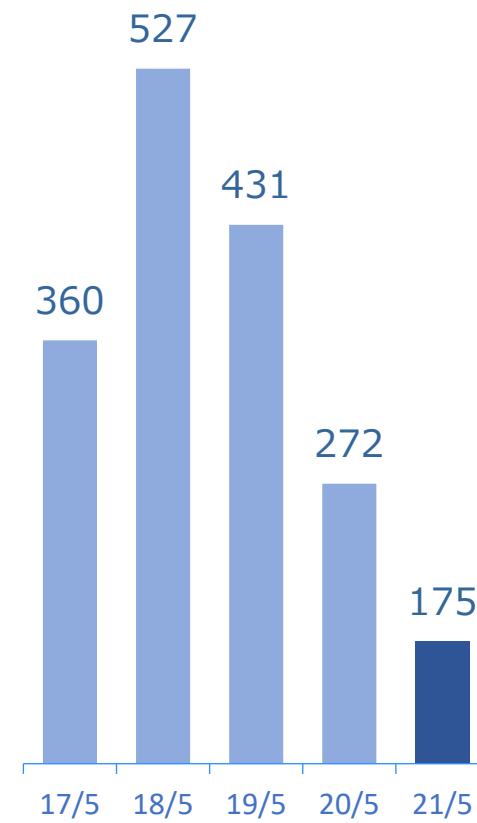
■ 売上高



■ 営業利益

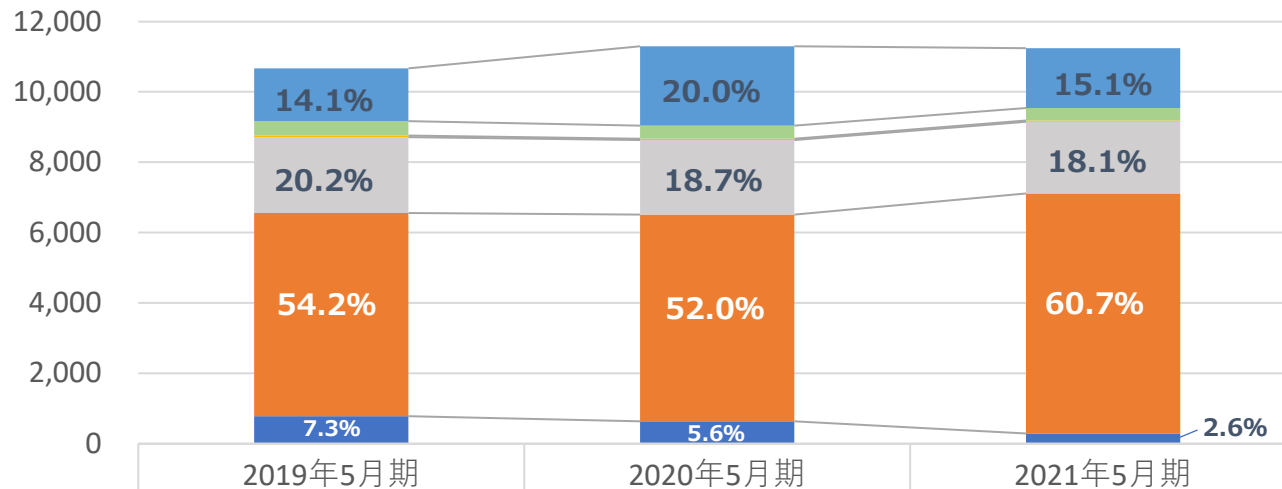


■ 当期純利益



- 小売業向けの取引が全体の60%を超えて推移
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、飲食・病院向けは減少

(単位：百万円)



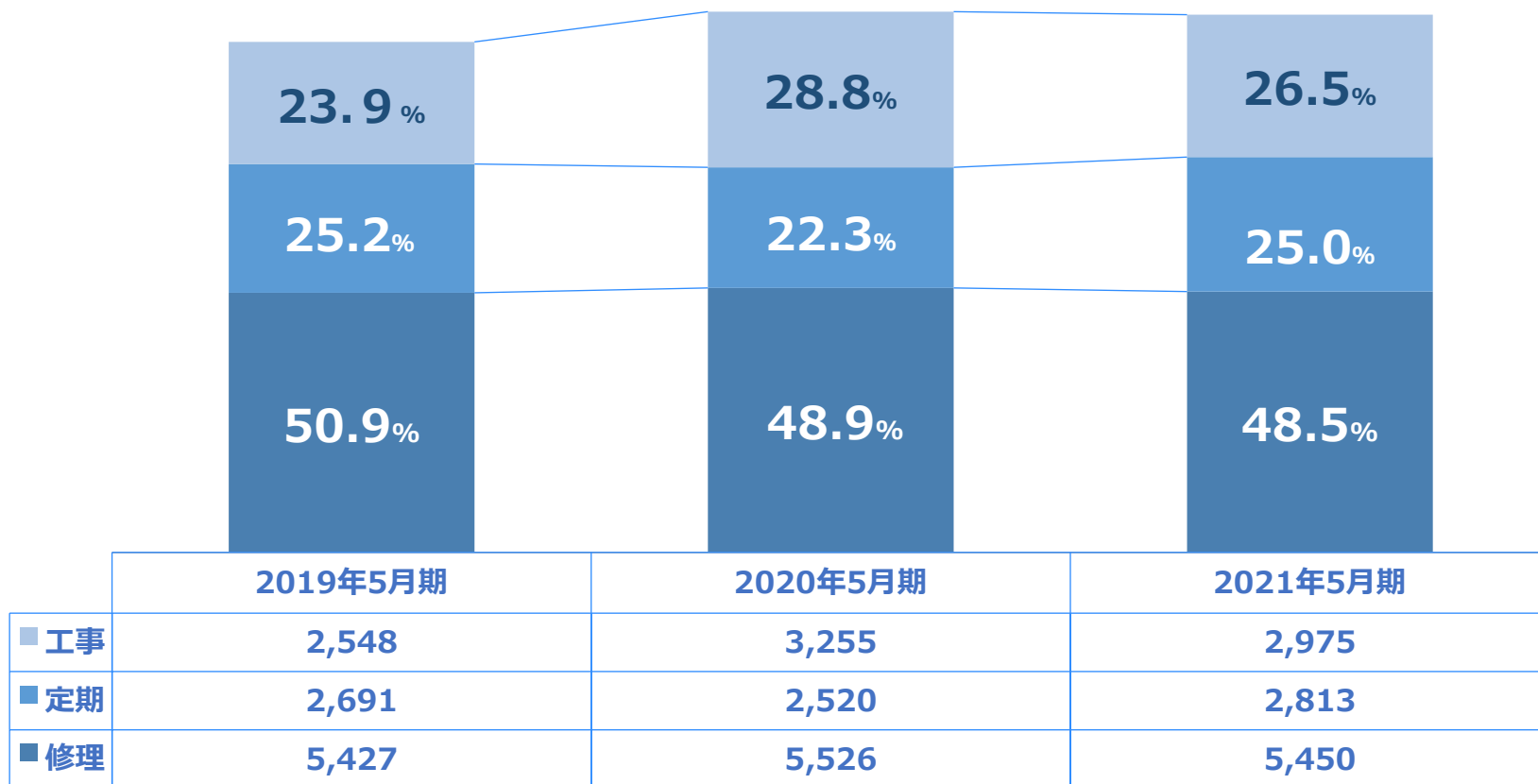
	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
■ 06.その他	1,504	2,264	1,699
■ 05.医療・介護・福祉	406	369	349
■ 04.イベント施設	44	39	45
■ 03.設備管理・不動産	2,157	2,113	2,030
■ 02.小売業	5,778	5,881	6,824
■ 01.飲食	779	634	291

※数値は単体ベースで記載しています。

2021年5月期決算概要 サービス種別売上構成の変化

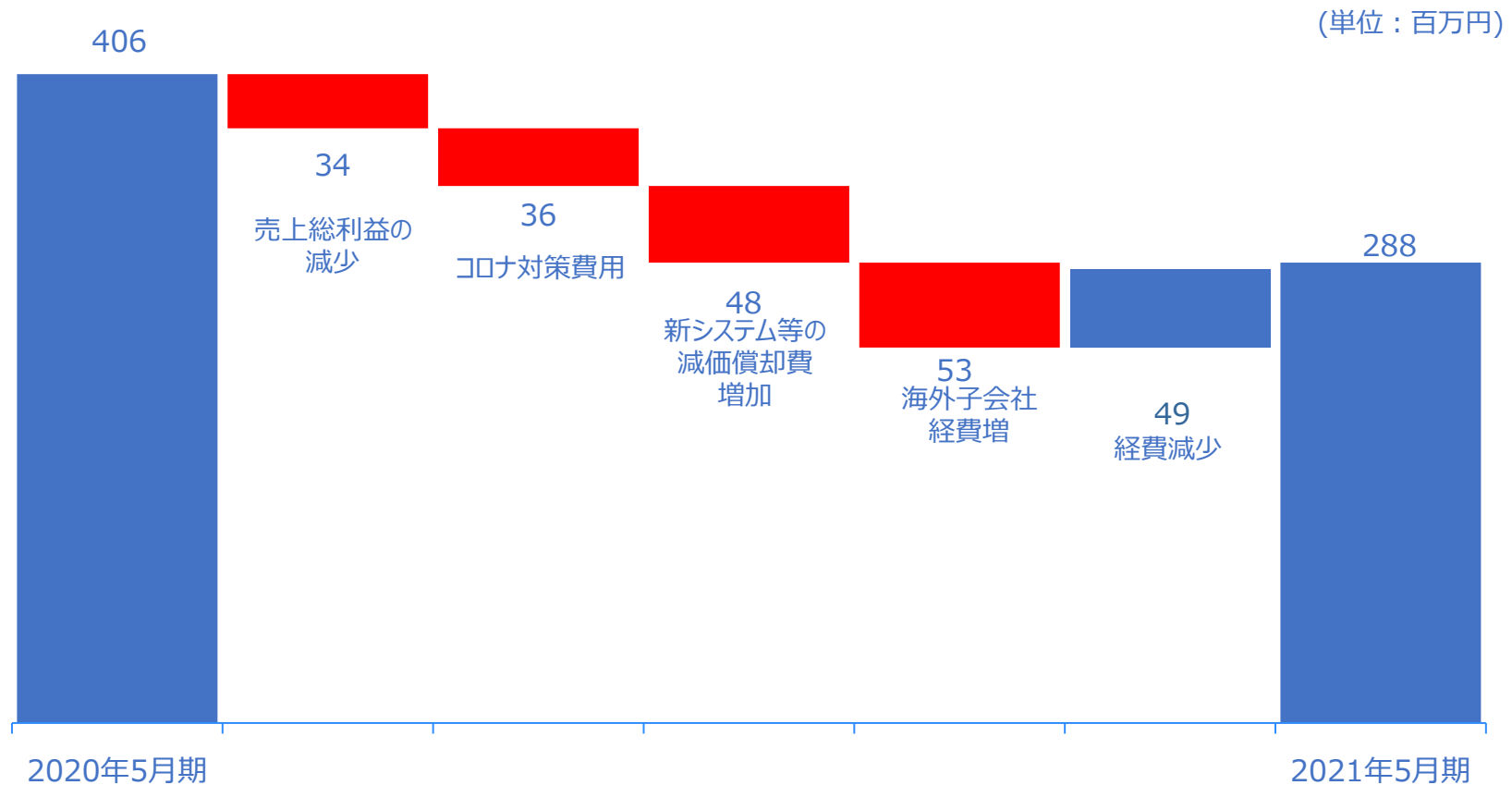
- 工事案件は、更新・省エネ案件の工事の中止等により2.3pt減少
- 定期案件は、小売業向けで前期に延期になった案件が再開したことや、案件の増加により2.7pt増加
- 修理案件は、0.4ptの微減

(単位：百万円)



2021年5月期決算概要 連結営業利益増減要因

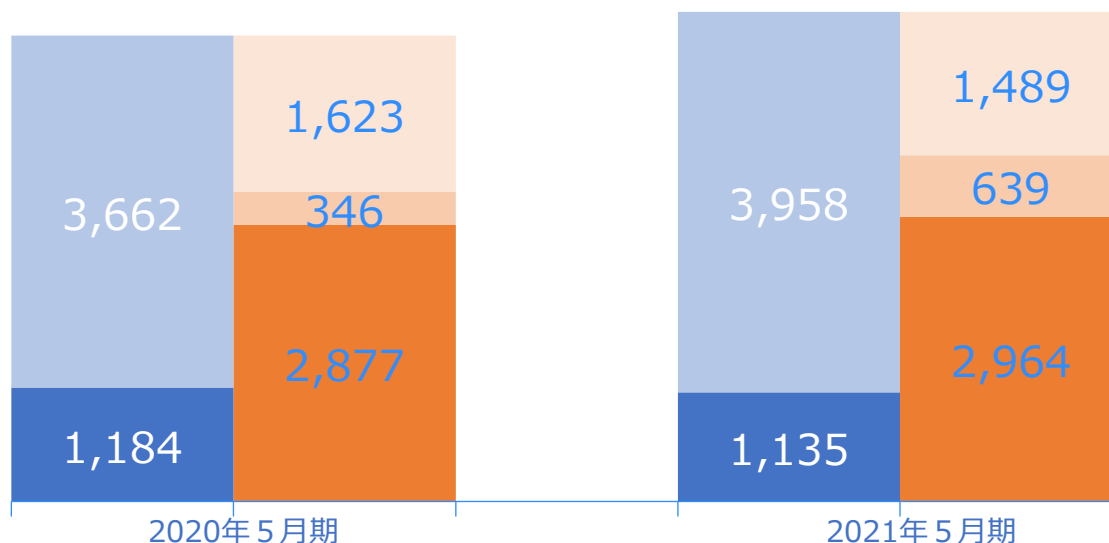
- 売上高減少により売上総利益が減少
- 基幹システムの減価償却費や海外子会社の経費増加により販管費が増加
- 新型コロナウイルス感染症拡大対策費用は増加の一方で、採用費等は大幅に減少



2021年5月期決算概要 連結貸借対照表

〔連結貸借対照表〕 (単位：百万円)

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債
■ 固定資産 ■ 流動資産



主な増減要因

(資産)

- +744 現金及び預金の増加
- △469 売上債権の減少

(負債)

- △91 工事未払金の減少
- △58 未払法人税及び消費税等の減少
- △37 未払費用、前受金の減少
- +346 長期借入金(1年内含む)の増加

(純資産)

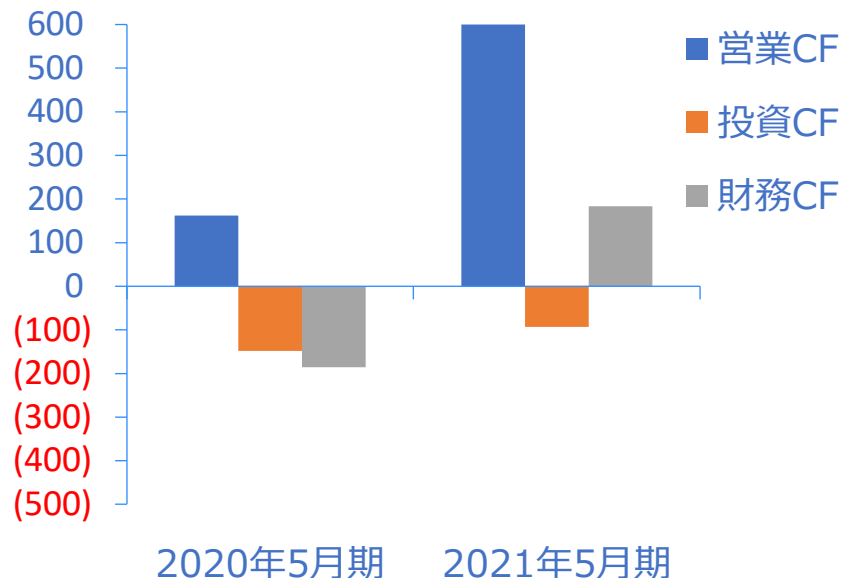
- +175 親会社株主に帰属する当期純利益
- △147 配当金の支払
- +51 新株発行による資本金等の増加

●自己資本比率：新株発行による資本金等の増加及び当期純利益による利益剰余金の増加、
 59.2% → 58.2% 長期借入金の増加によりほぼ横ばい
 (FY20) (FY21)

●ROE：対前年比当期純利益が減少し、新株発行や当期純利益により自己資本が増
 9.7% → 6.0% 加したことにより減少
 (FY20) (FY21)

2021年5月期決算概要 連結キャッシュフロー計算書

〔連結キャッシュフロー計算書〕 (単位：百万円)



(単位：百万円)

	2020年 5月期	2021年 5月期	増減
営業活動CF	162	666	+ 504
投資活動CF	△148	△110	+ 38
財務活動CF	△186	184	+ 370
期末残高	903	1,645	+ 742

前年との変化の主な要因

(営業活動CF)

- △134 税引前当期純利益の減少
- +831 売上債権の減少
- △134 仕入債務の減少

(投資活動CF)

- +22 ソフトウェアの取得による支出の減少
- +19 定期預金の払戻による収入等の増加
- △17 子会社清算による支出の増加

(財務活動CF)

- +450 長期借入による収入の増加
- △44 長期借入金返済による支出の増加

説明内容

1

当社について

2

2021年5月期 通期決算概要

3

2022年5月期について

- ・今まで培ってきた技術・ノウハウについて、業界を超えて横展開を行う
- ・環境ビジネスを第3の事業の柱として育てていく
- ・引き続きIT投資や人材育成に注力しながら経営基盤の強化を行う

取り組み内容

事業 基盤 強化	飲食	・定期・保守案件の再開への対応
	スーパー・ 小売り	・既存顧客向けで培った技術・知識を活かせる新規顧客を開拓 ・病院向け等の提案で培った、環境に配慮した省エネに関するノウハウを横展開
	病院	・コロナで延期になった空調の更新工事再開への対応 ・取り扱い商材の一層の拡充、きめ細やかな提案の実施
経営 基盤 強化	システム 競争力	・市場での一層の競争力強化のため、基幹システムへの必要な機能追加等の投資を実施し、更なる業務効率の向上を目指す
	人材育成 ・確保	・人材のマルチスキル化を強化し、案件の対応力強化を行う ・優秀な人材確保のために、働き方改革や戦略的な人事制度の導入を行う

数値目標【連結ベース】

	2021年5月期	2022年5月期	差異
売上高	115億円	125億円	+ 10億円
営業利益	2.8億円	4.5億円	+ 1.7億円
営業利益率	2.5%	4.0%	+ 1.5pt
ROE	6.0%	9.4%	+ 3.4pt

配当政策の基本方針

健全な財務構造の維持と継続的かつ安定的な利益還元とに並行して取り組む

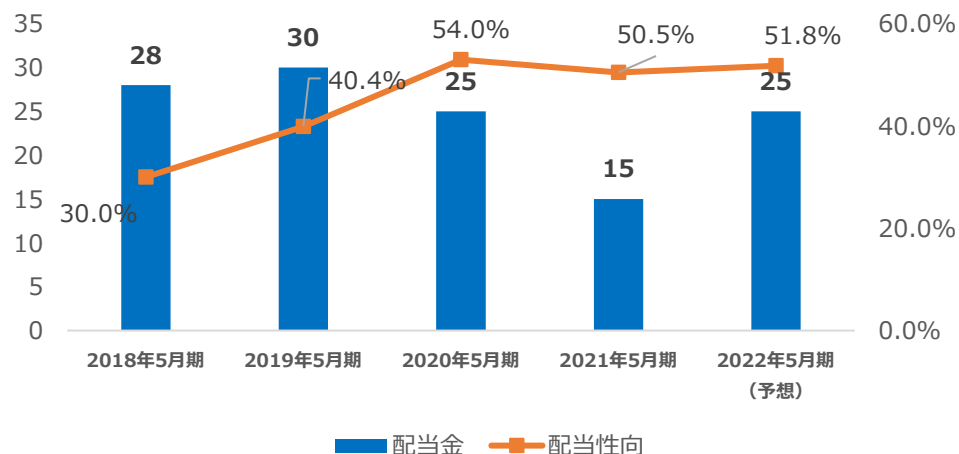
配当方針

・継続的かつ安定的な利益配当を行う

株主優待

- ◎ クオカード1,000円分を進呈
※年1回5月末日時点で100株以上保有の方

一株当たり配当金と配当性向 (円、%)



本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

掲載内容については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等、本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何にかかわらず当社は一切責任を負うものではありません。